

中長期的な雇用統計の整備に向けて

【これまで研究会で議論されたもの（例）】

- 複数の副業の把握

- 外国人労働者

- 従業上の地位、柔軟な雇用形態

- ふだんの就業状態の把握（スポット的な働き方、断続的な働き方）

- テレワーク、働く場所

- 非労働力人口の把握

【その他：二次利用など（例）】

- 自営業の動向

- 人的資本形成のあり方

- 高齢化への対応、生産年齢の範囲